

## J R久留里線（久留里・上総亀山間）の現状等に係る住民説明会 概要

### 1 開催日時

令和5年6月1日（木）午後6時30分から午後8時35分

### 2 開催場所

亀山コミュニティセンター 大会議室

### 3 内 容

#### （1）検討会議の設立趣旨及び第1回検討会議の結果概要等

- ・千葉県から、検討会議の設立趣旨及び、会議の中で、住民代表から要望があったことを受け、住民説明会の開催が決定したことを説明。
- ・藤井特任教授から、第1回検討会議の結果概要等及び、今後、会議において久留里線（久留里・上総亀山間）の沿線地域の交通のあり方を検討していくとの方向性で合意したことを説明。

#### （2）J R久留里線（久留里・上総亀山間）の現状等

- ・J R東日本千葉支社から、久留里線の現状と課題について、資料1-1及び1-2に基づき説明。

#### （3）質疑応答、意見交換

※下記意見等概要のとおり

### 4 配布資料

- ・J R東日本千葉支社の協議申し入れ文書（資料1-1）
- ・久留里線（久留里・上総亀山間）の現状及び課題に関するJ R千葉支社長会見資料（資料1-2）

### 5 出席者

- ・千葉県 総合企画部次長 横山 尚典
- ・君津市 企画政策部長 鈴木 広夫
- ・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社 企画総務部企画部長 森原 大輔
- ・J R久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議座長  
藤井 敬宏（日本大学理工学部交通システム工学科特任教授）

### 6 参加者 68名

#### 【意見等概要】

##### ①【松丘・男性】

- ・ぜひ継続運転をしていただきたい。1月から4月まで署名を集め、J R千葉支社に提出した。返事はもらっていない。久留里亀山間の廃線はやめてほしい。
- ・亀山ダム等観光施設を活用し、県外などから人を呼び込む際に久留里線を使ってもらうようにするなど、営業収入の回復のための努力をしてほしい。

## 【 亀山地区 】

- ・ 県と市には、人口減少が進捗する中で、地域を活性化させる取組を J R と一緒にやってほしい。
- ・ 鉄道の持つ意味、なくなったら悲しい。希望を持たせる政策を。

### ②【地区外・男性】

- ・ 観光面について、はとバスやクラブツーリズムで観光バスのルートに久留里線を組み入れてもらうような取組を J R や久留里線活性化協議会でできないか。
- ・ 亀山少年自然の家などの施設において、久留里線での利用者に割引などの助成ができないか。
- ・ J R が直接所有しているのは、鉄道施設のみだと思うが、費用の内訳は。
- ・ 上下分離の場合の費用は。
- ・ バスやデマンドになった場合、赤字補填しても運転手が確保できるのか。
- ・ 高速バスは久留里線の接続はしてもらえるのか。

### ③【松丘・男性】

- ・ 久留里線は必要不可欠。J R は守る責務がある。
- ・ 署名活動をしている中で、地域の方は、久留里線を残してほしいと願っていることを肌で感じた。
- ・ 空き家もあるが、転入者もいる。若い人もいる。
- ・ 学校がなくなり、鉄道がなくなったら地域が廃れていく。ぜひ残してほしい。

### ④【亀山・男性】

- ・ 検討会議には 3 地区の住民代表が急に呼ばれ、非公開で行われたが、どういう権限を持つのか非常に心配。不公平だと思う。もっと一般の人や守る会の人を入れた方が良いのでは。
- ・ 鉄道は公共性が強いもの。鉄道を守ってきた文化や背景を考えてほしい。
- ・ J R 東日本全体は黒字。赤字路線はあると思うが、民営化した際に、全体で支えていくと約束しているはず。
- ・ J R はまず、国ときちんと話し合ってもらいたい。

### ⑤【松丘・男性】

- ・ 久留里線の収支に驚いている。なぜ赤字なのか内訳を教えてください。
- ・ 利用状況の調査をした。観光列車の意味合いが強い。ぜひ残してほしい。
- ・ 電気を止めるという申し入れはあったか、その心配はしなくていいのか。
- ・ 行政は住民を守るという姿勢でいてほしい。

### ⑥【亀山・女性】

- ・ 30 年くらい前の中高生の親の意見は、部活をやると久留里止まりの列車になってしまうので、部活ができないという子どももいた。J R に要望を出したら、その時間の対応はできないと言われた。
- ・ 利用者が減った原因を考えないといけない（利用したくてもできない人がいた）。

## 【 亀山地区 】

人口は確かに減っているが、時間が合わず、久留里まで送り迎えをしている親がたくさんいたということも考慮してほしい。

- ・ 久留里止まりで非常に困っていた。利用しなかった理由を突き詰めないといけない。
- ・ 4月に亀山地区でイベントを開催したが、ほとんどが久留里止まりだったため、来られない人がいた。運行時間に考慮してもらえたら、もっと活性化していたと思う。

### ⑦【地区外・男性】

- ・ 亀山ダムの重要性の話。ダムと鉄道の関連
- ・ 県と沿線市でJRに支援して。鉄道も大事なインフラ。敷いておいた方がいい。

### ⑧【亀山・女性】

- ・ 子どもが利用している。1日55人という数字について、列車の本数が少なくて、久留里まで送迎をすることがある。そうすると、本来は久留里線を使っていたかもしれない正確な人数は出ないと思う。久留里亀山間の人数は、親が送迎している人数は入っていない。
- ・ 亀山、松丘地区は面積も広い。子どもたちを別々に送迎すると久留里からの列車に間に合わない。
- ・ 代替交通がバスだとすると、バスはいつなくなるかわからない。
- ・ 定期代もJRの学生定期はとても安い。雪の日も列車なら走ってくれる。
- ・ プロレス列車もサイクルトレインも久留里までで亀山まで来ない。
- ・ Suicaを使えるようにしてほしい。
- ・ 鉄道の移動の方がバスよりも快適である。学生のために残してほしい。

### ⑨【地区外・男性】

- ・ 免許返納した。鉄道は時間が正確。
- ・ なぜ、国土交通省が来ていないのか。国鉄が分割民営化をした際に、大臣はローカル線の廃止はしないと約束したはず。国交省が地域住民の意見を聞くべき。
- ・ 大量輸送のメリットとは、利便性の向上とは。一人でも乗っていたらありがたいのでは？なぜ、赤字の責任を住民が負わなくてはならないのか。
- ・ 利便性の向上と言っているが、そもそも本数が少ない。まずは5時間も空いているのを何とかすべきではないか。本数を増やしたり、大多喜まで延伸したりするのが利便性の向上である。

### ⑩【亀山・男性】

- ・ 観光の視点から、JRと連携した取組みをしている。鉄道が通っていない観光地に客が来るのかという心配がある。
- ・ 小湊鉄道はイベント等で集客している。久留里線も先日のお酒のイベント列車は好評だったと聞いている。観光地はたくさんあるので、魅力発信に取り組んでほしい。

## 【 亀山地区 】

### ⑪【地区外・男性】

- ・ 久留里線の利用促進と活性化に向け、亀山地区でトキの放鳥をしたいと思っており、6/25（日）午後2時～4時トキの講演会を行うので、皆さんに来てもらいたい。

### ⑫【松丘・男性】

- ・ 藤井先生に「沿線地域の総合的な交通体系に関する議論」とは、具体的に教えてほしい。

#### （藤井特任教授回答）

- ・ ライフラインと公共の移動というものを同列で考えるのは、違う。
- ・ 鉄道、バス、タクシーそれぞれに特性がある。利用できる人数も異なる。交通の役割分担を考えたときに適切なモードは何か、実際の利用者数を担保できるものは何かということ考えていく。
- ・ 君津市では公共交通計画を策定している最中。全体の移動の仕方を位置づける。地区それぞれの特性を踏まえて、移動の方法を位置づける計画を作っているところ。廃線ということが前提にあるわけではない。
- ・ 地域の問題をどう捉え、声だけではなく、思いをどう形にしていくかを検討会で考えていく。
- ・ なくす、なくさないだけではなく、様々な選択肢を検証しながら、具体的な検討もしていく。

### 【地区外・男性】

- ・ ワークショップ形式の議論は検討しているか。

### ⑬【地区外・男性】

- ・ 人数のことを言っていたが、なぜ減っていったのかという理由は言っていない。
- ・ JRは営業努力をしていると言っていたが、コストダウンのためのもの。
- ・ ワンマン化、5時間も空白がある。
- ・ 住民の総意を聞く場が少ない。何も決まってないということであれば、もっと時間をかけて、様々な意見を聞いてほしい。

### ⑭【松丘・男性】

- ・ 今までの意見を聞いて、それぞれの立場での感想を。

### ⑮【亀山・男性】

- ・ 廃線ありきだと思う。検討会に守る会の人が入っていない。
- ・ JR東日本としては黒字なのだから、それを赤字に回せばいい。
- ・ インフラの一つだと思うので、なくしてはいけない。JR東日本は、もっと国と議論すべき。

## 【 亀山地区 】

### ⑩【 亀山・男性 】

- ・ 久留里線は久留里亀山間ではなくて、全体で考えるべき。配当もあるのだから、もっと頑張ってもらいたい。

### 【 出席者感想 】

#### （ JR回答 ）

- ・ 引き続き、あらゆる前提を置かず様々な観点から沿線地域の総合的な交通体系を検討してもらいたい。

#### （ 藤井特任教授回答 ）

- ・ 思いは強く受け止めた。これまでの経緯ももっと勉強しなければ。
- ・ 上総地域の問題、単に残すといってもどういう残し方をするのかと考えていかなければ。人を呼び込む、どのように地域の方が関わっていけるのか。
- ・ 総合計画、交通計画、一体となって考えていかなければ。

#### （ 千葉県回答 ）

- ・ 愛着、残してほしいという思いは感じた。住んでいる方の暮らし、足をどう確保していくのか、利用者が減ってきた原因も含めて、分析したうえで、将来何がいいのかというものを考えていかなければ。
- ・ 移住定住、人口減少は日本全体の問題。パイを奪い合って、この地域に増やしていくというのは、非常に難しいと思う。利便性と地域の活性化について考えていきたい。

#### （ 君津市回答 ）

- ・ 鉄道への愛着を強く感じた。また、ニーズに合っていないという意見も多くあり、このことをどう埋めていくのかということも考えていかなければいけない。
- ・ 観光面での地域の活性化も併せて考えていかなければいけない。検討会議で議論していく。